

## 論文要旨

所属ゼミ	高木研究会	学籍番号	80128984	氏名	山村建介
(論文題名)					
同族企業の成長と繁栄における創業者一族の役割					
(内容の要旨)					
<p>近年のコーポレートガバナンス論の浸透に伴い、「日本的経営」の更なる見直しが求められるようになってきている。特に世襲人事についてのアカウンタビリティはコーポレートガバナンスの観点からも、社員のモチベーション維持とモラル向上の観点からも今後更なる議論が予想される。</p> <p>このようにして経営環境の変化が著しい中で、同族企業が成長と繁栄を継続していくためには、創業者一族がどのような役割を果たしていくべきなのかを探るのが本研究の目的である。</p> <p>”3 Circle Model” (J. Davis,1982; Tagiuri &amp; J. Davis, 1982, 1989)を本研究の基本フレームワークとして、独自に行った創業者一族へのインタビュー結果から、彼らの持つ思考・行動特性を洗いだし、その強み弱みを分析し、創業者一族が企業に対してどのような影響力を持っているのかについて研究を行った。</p> <p>また、分析結果を再度フレームワークに当てはめることにより、同族企業の発展プロセスにおいて発生しえる問題点、並びに外的・内的要因によって発生する創業者一族固有の問題点を洗い出すことにより、今後どのように対処していくことが求められるかについて筆者なりの考察を加えた。</p> <p>また、リーダーシップに関する文献研究により、同族企業における創業者一族の今後のあるべきリーダーシップ像についても考察を加えている。</p>					